

第1回 新得町観光振興ビジョン検討会議 意見のポイント

観光の現状について

○新得町の観光の現状

意見

- ・交通アクセスの良さやサホロリゾートの存在など、十勝の中でも新得は恵まれている
- ・商店街に活気がなく、町並みに魅力が感じられない
- ・観光客のニーズに合ったお土産等が用意できていない

○駅前商店街の活気のなさをどうすればよいのか

意見

- ・サホロ地域だけではなく玄関口となる駅前も新得町の顔としての賑わいを増やせないか
- ・商店街を活性化していく店づくりをするのは事業者の宿命
- ・駅にいる観光客に町なかを歩いてもらう努力が必要
- ・駅前再整備について商工会が主体となって議論しているが、こちらの議論と齟齬が生じないか
→商工会からも情報を提供してもらう

○神社山の観光面での活用

意見

- ・神社山を観光資源としての可能性がある

観光振興ビジョンのあり方等について

○ビジョンの構成

意見

- ・観光協会と町の役割を分けるのは難しい
→責任体制の明確化と実現性の確保のためには役割分担は必要
- ・ビジョンは実現可能性を重視するのか、夢を語るのか
→この会議で方向性を決める

観光振興施策・取組について

○インバウンド対策のあり方

意見

- ・情報発信力が欠けており、国際的な対応が必要
- ・外国語表記のサインが少ないが、その対応は早急にできるはず
- ・外国語対応を行うと満足度も高くリピーターの増につながり、口コミも広がりやすい

○情報発信のあり方

意見

- ・新得町の情報が伝え切れていなく、まとめてわかりやすく発信する必要がある
- ・観光客が自らルートを設定できるよう、観光施設の営業時間や営業内容や施設間の距離など細かく情報発信する
- ・情報をどこに出すのか、どのように見えるように出すのか、考えて実施すること
- ・観光関係者が情報を持ち込んで、リアルタイムで観光情報が更新されるHPなどがあればよい

○狩勝高原園地再整備のあり方

意見

- ・狩勝高原園地再整備について、町民の理解を得て観光を盛り上げていくにはどうしたらよいか

○観光資源の連携について

意見

- ・観光資源の連携について、例えば、共働学舎のチーズの知名度を活用して新得町の観光を盛り上げるためにはどのようにすれば良いか
- ・観光事業者間で普段からコミュニケーションがなく、連携すれば情報交換もでき、可能性が生まれる

○サホロエリアから市街地へ観光客を呼び込む方法

意見

- ・サホロエリアの観光客を市街地へ呼び込む取組が必要
- ・富良野やトマムといった近場の観光地ともうまく連携して観光ルートをつくってはどうか

○観光振興の取組について

意見

- ・ステラステーション（駅の売店）を活用し、そこを発信源として広めていけたらよい
- ・観光客のニーズを把握して、受入対策の充実を図らなければならない
- ・議論の内容はすべて「地域の魅力向上」ということにつながる
- ・ベースを自然として、観光客のニーズに合わせて新得町の魅力をアピールする
- ・町民みんなが観光案内人になればいい